



特定技能外国人受け入れに関する調査

株式会社 **アイテム**

東京都新宿区新宿1-4-10 アイテム本社ビル

「調査担当」

東日本事業本部 データリサーチチーム

「お問い合わせ」

広報担当/望月・栗木 電話：03-5269-8780

調査目的： 2020年4月1日に特定技能に関する法施行から1年を迎えるにあたり、現状と今後の見通しについて明らかにする。

調査対象： 特定技能制度に関連する業種の採用担当者または経営者

サンプル数： 860サンプル

調査手法： インターネットリサーチ

調査期間： 2020年3月6日（金）～3月9日（月）

調査結果（サマリー）

【「特定技能」制度の認知度】

「制度の名称も仕組みも知っている」42.9%、「制度の名称は知っているが仕組みはよく知らない」39.9%

【受け入れが及ぼす良い影響】

「人材不足の緩和につながった」 53.2%、「教育制度の見直し・向上につながった」 31.9%

実際に受け入れている企業の98%が何らかの良い影響を受けている

【採用活動で困ったこと／不安なこと】

「特定技能外国人の日本語レベルが心配」43.0%、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」38.3%

【採用ルート】

特定技能外国人の採用は、「国外にいる新しい人材を採用する」が45.5%で最も高い

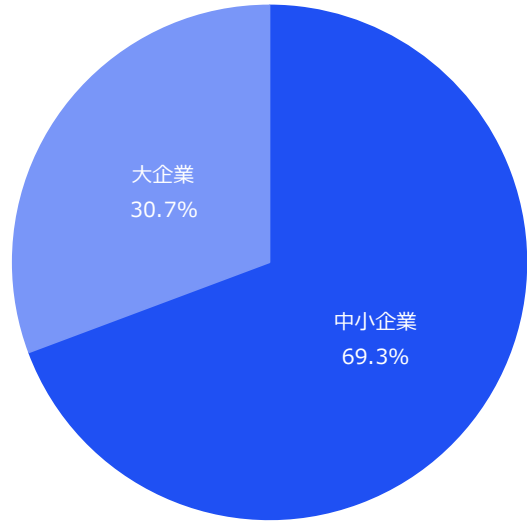
【現在受け入れている企業の採用増員意向】

特定技能外国人の採用数について「増やす予定がある」のは68.1%と7割近く

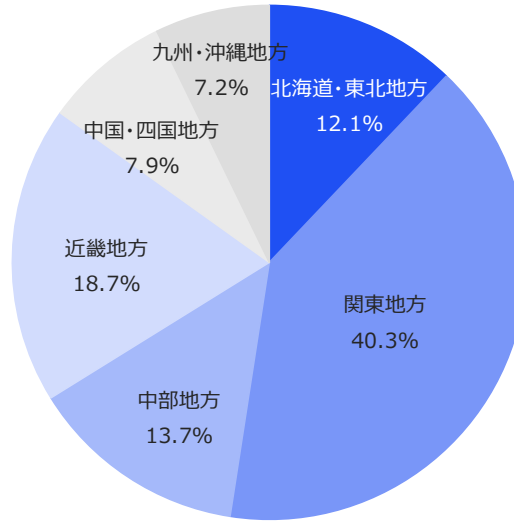
【受け入れ・検討予定のない企業の理由】

受け入れの予定がない理由は、「事業の性質上難しいから」30.5%、次いで「受け入れ態勢が整っていないから」28.8%

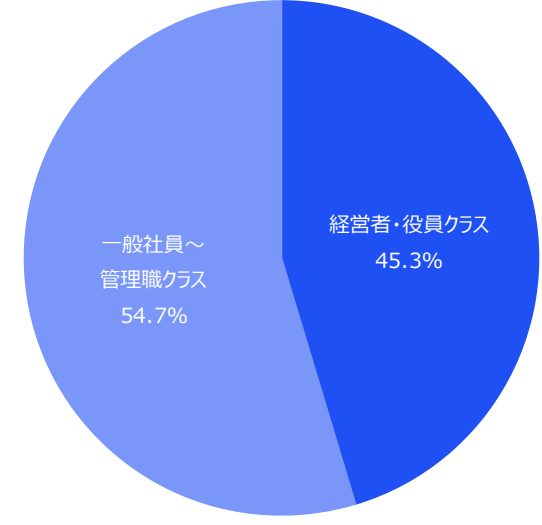
■ 企業規模



■ 勤務先の本社所在地



■ 役職

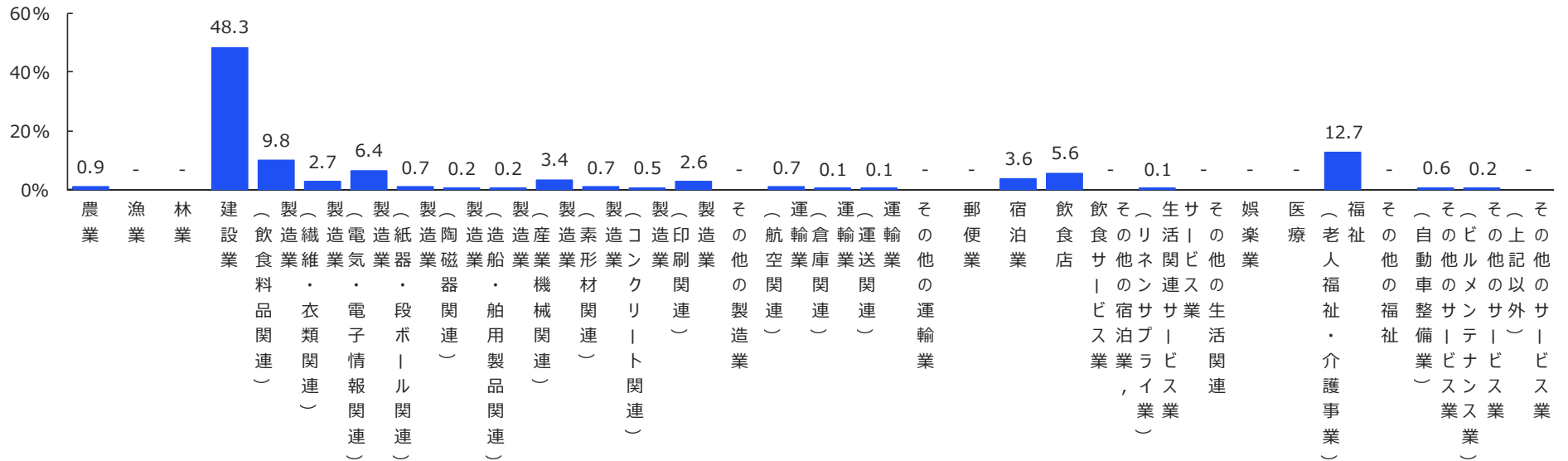


■ 勤務先の業種

(n=860)

(n=860)

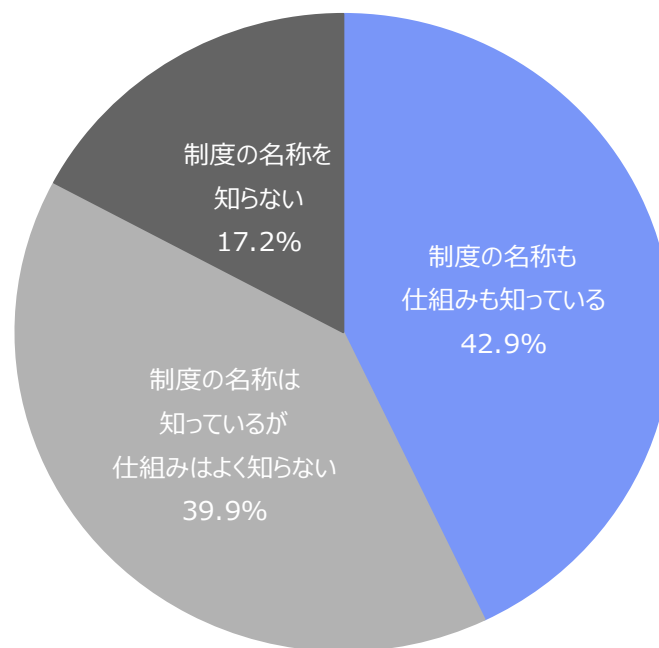
(n=860)



(n=860)

Q あなたは下記の制度を知っていますか。／特定技能

- 「制度の名称も仕組みも知っている」は42.9%、「制度の名称は知っているが仕組みはよく知らない」は39.9%、「制度の名称を知らない」は17.2%
 - 制度の名称の認知は8割を超えているが、受け入れ対象業種の企業でも2割弱は名称を知らなかった。



(n=860)

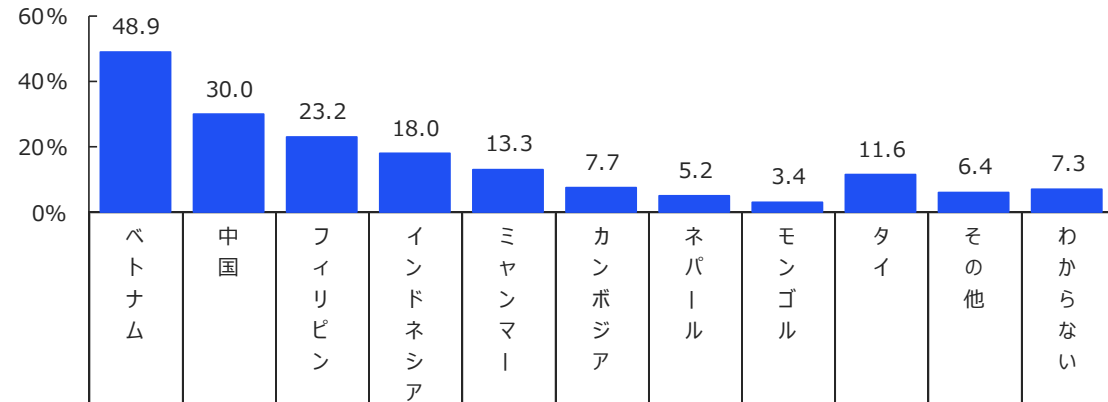
Q 現在、貴社では「特定技能外国人」を受け入れていますか。

- ▶ 特定技能外国人を「現在受け入れている」のは20.0%、「1年以内の時期に受け入れを予定している」のは13.0%、「将来的に受け入れを検討したい」のは27.0%、「受け入れ予定・検討なし／わからない」と回答したのは39.9%。
- ▶ 業種別では、製造業は26.2%と他業種よりも受け入れている。福祉は現在受け入れているのは14.1%と低いものの、19.6%が1年以内に受け入れを予定しており、今後の受け入れ増加が見込まれる。
- ▶ 従業員規模別でみると、特定技能外国人を受け入れているのは、大企業で34.2%、中小企業で13.2%と大きな差がみられる。

		n=	現在受け入れている (働いている)	半年以内の時期に 受け入れを予定している		半年超1年以内の 時期に受け入れを 予定している	受け入れの予定は ないが、将来的には 検討したい	受け入れる予定はなく、 検討する予定もない	わからない
全体		704	20.0	7.5	5.5	27.0	33.5	6.4	
業種別	建設業	336	17.3	7.1	3.3	26.2	38.7	7.4	
	製造業	191	26.2	6.8	6.3	27.7	27.7	5.2	
	宿泊業,飲食サービス業	66	22.7	9.1	6.1	30.3	25.8	6.1	
	福祉	92	14.1	8.7	10.9	26.1	34.8	5.4	
従業員 規模別	中小企業	476	13.2	6.5	4.8	29.4	39.5	6.5	
	大企業	228	34.2	9.6	7.0	21.9	21.1	6.1	

Q 現在、貴社で受け入れている（予定含む）「特定技能外国人」の国籍を教えてください。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の国籍は「ベトナム」が48.9%と最も高く、次いで「中国」（30.0%）、「フィリピン」（23.2%）。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、「中国」は現在受け入れ企業が36.9%と高い一方、受け入れ予定企業は19.6%にとどまる。
- ▶ 業種別でみると、福祉では全体値に比べて、「フィリピン」が32.3%と高く、他の業種に比べて「ベトナム」「中国」がいずれも低い。
- ▶ 従業員規模別では、大企業では「ベトナム」からの受け入れが56.0%と半数超、「中国」は37.1%と中小企業に大きく差をつけている。



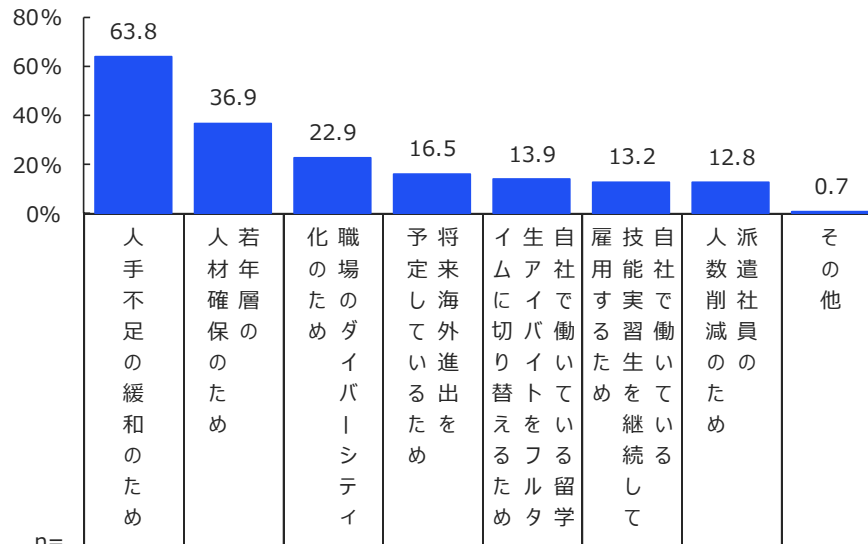
n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	ベトナム	中国	フィリピン	インドネシア	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	わからない
全体		233	48.9	30.0	23.2	18.0	13.3	7.7	5.2	3.4	11.6	6.4	7.3
受け入れ別	現在受け入れている（働いている）	141	51.1	36.9	22.7	16.3	12.8	9.2	6.4	3.5	14.2	9.2	5.7
	受け入れを予定している 計	92	45.7	19.6	23.9	20.7	14.1	5.4	3.3	3.3	7.6	2.2	9.8
業種別	建設業	93	50.5	33.3	22.6	21.5	9.7	8.6	3.2	3.2	11.8	6.5	8.6
	製造業	75	49.3	33.3	24.0	18.7	13.3	6.7	5.3	2.7	14.7	5.3	1.3
	宿泊業, 飲食サービス業	25	60.0	24.0	12.0	12.0	28.0	8.0	16.0	4.0	8.0	20.0	20.0
	福祉	31	38.7	16.1	32.3	12.9	12.9	6.5	-	6.5	6.5	-	6.5
従業員規模別	中小企業	117	41.9	23.1	18.8	14.5	10.3	3.4	2.6	1.7	7.7	5.1	6.0
	大企業	116	56.0	37.1	27.6	21.6	16.4	12.1	7.8	5.2	15.5	7.8	8.6

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q 貴社が、現在「特定技能外国人」を「受け入れている」または「受け入れを検討している」理由は何ですか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の受け入れ理由は、「人手不足の緩和のため」が63.8%と最も高く、「若年層の人材確保のため」（36.9%）と続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業は『自社で働いている従業員の特定技能への切り替え』が、検討企業は「人手不足の緩和のため」が全体値を大きく上回る。
- ▶ 業種別でみると、製造業で「職場のダイバーシティ化のため」が、宿泊業、飲食サービス業、福祉では「人手不足の緩和のため」がそれぞれ他業種と10pt以上差をつけている。
- ▶ 従業員規模別では、大企業は「将来海外進出を予定しているため」が28.3%と中小企業（8.9%）の3倍以上になっている。



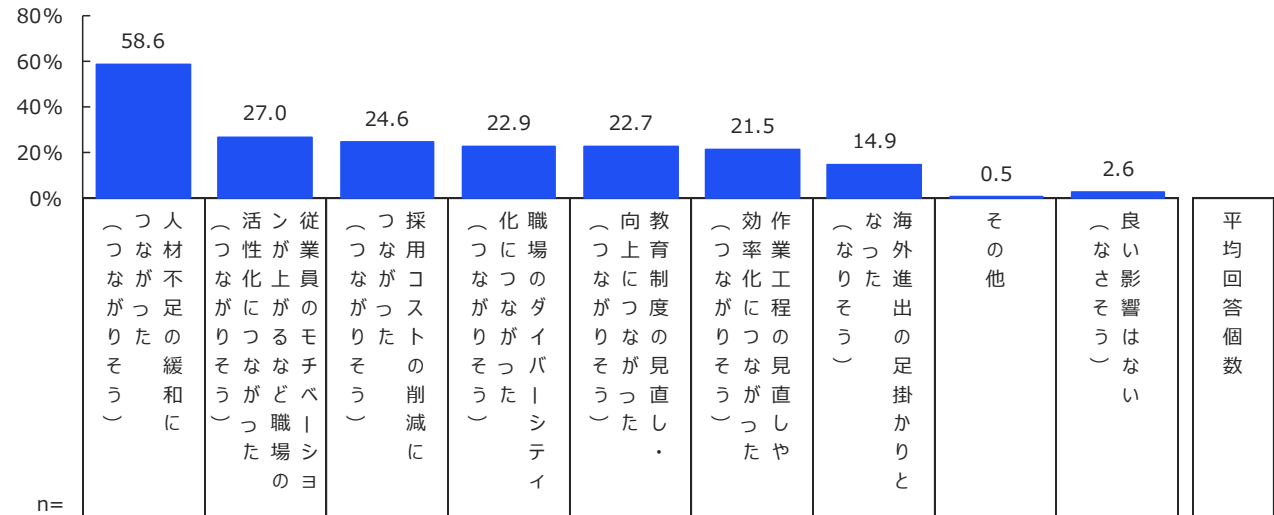
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	人手不足の緩和のため	若年層の人材確保のため	職場のダイバーシティ化のため	将来海外進出を予定しているため	生員に切り替えるため	自社の実働生員を継続して雇用する	派遣社員の削減のため	その他	平均回答個数
全体		423	63.8	36.9	22.9	16.5	13.9	13.2	12.8	0.7	1.8
受け入れ別	現在受け入れている（働いている）	141	53.9	31.9	30.5	24.8	24.1	31.2	17.7	0.7	2.2
	受け入れを予定している 計	92	57.6	34.8	25.0	21.7	17.4	6.5	16.3	1.1	1.8
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	74.2	41.6	16.3	7.9	4.7	3.2	7.4	0.5	1.6
業種別	建設業	181	64.6	43.1	17.7	15.5	15.5	15.5	16.6	0.6	1.9
	製造業	128	53.9	28.1	34.4	23.4	13.3	12.5	11.7	0.8	1.8
	宿泊業、飲食サービス業	45	77.8	44.4	22.2	15.6	17.8	4.4	6.7	2.2	1.9
	福祉	55	78.2	30.9	12.7	7.3	7.3	10.9	10.9	-	1.6
従業員規模別	中小企業	257	67.3	37.7	17.1	8.9	10.9	9.3	13.2	0.8	1.7
	大企業	166	58.4	35.5	31.9	28.3	18.7	19.3	12.0	0.6	2.1
役職別	経営者・役員クラス	169	63.9	36.1	20.7	17.8	13.6	10.1	10.1	-	1.7
	一般社員～管理職クラス	254	63.8	37.4	24.4	15.7	14.2	15.4	14.6	1.2	1.9

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において、「特定技能外国人」を受け入れることで、実際にあった「良い影響」はなんですか。または、「特定技能外国人」を受け入れることで、想定している「良い影響」はなんですか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の受け入れが及ぼす影響について「人材不足の緩和につながった（つながりそう）」が58.6%と最も高く、「従業員のモチベーションが上がるなど職場の活性化につながった（つながりそう）」（27.0%）、「採用コストの削減につながった（つながりそう）」（24.6%）と続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別にみると、現在受け入れている（働いている）企業では「人材不足の緩和につながった」が53.2%、「教育制度の見直し・向上につながった」が31.9%。受け入れている企業の98%が何らかの良い影響を受けている。
- ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で採用コストの削減につながった（つながりそう）」が37.8%と他業種を大きく上回る。
- ▶ 従業員規模別では、大企業では「職場のダイバーシティ化につながった（つながりそう）」が34.9%と、中小企業（15.2%）に2倍以上の差をつけている。



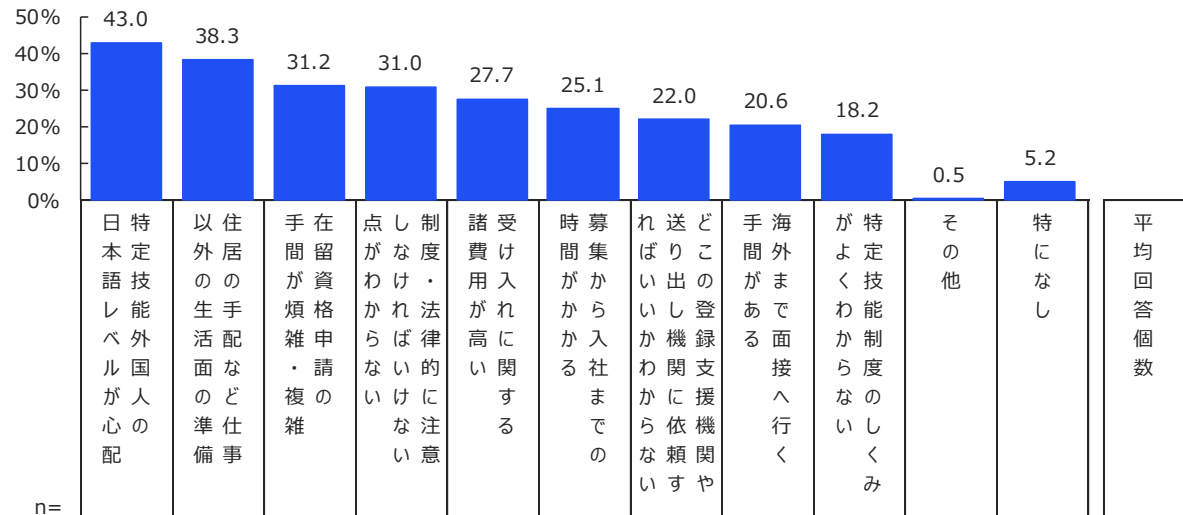
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	（つ）人 材 不 足 の 緩 和 に 連 携 した	（つ）活 性 が 上 げ ら れ た	（つ）採 用 コ ス ト の 削 減 に	（つ）職 場 の ダ イ バ ー シ テ ィ 化 に	（つ）教 育 制 度 の 見 直 し ・ 向 上 に	（つ）効 率 が 上 げ ら れ た	（つ）海 外 進 出 の 足 掛 かり と	そ の 他	（つ）良 い 影 響 は な い	平均 回 答 個 数
全体		423	58.6	27.0	24.6	22.9	22.7	21.5	14.9	0.5	2.6	1.9
受け入れ別	現在受け入れている（働いている）	141	53.2	27.7	24.8	27.0	31.9	24.8	24.1	0.7	1.4	2.1
	受け入れを予定している 計	92	51.1	29.3	37.0	20.7	18.5	30.4	12.0	1.1	1.1	2.0
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	66.3	25.3	18.4	21.1	17.9	14.7	9.5	-	4.2	1.7
業種別	建設業	181	60.2	28.2	22.1	18.2	26.5	27.6	12.7	-	2.2	2.0
	製造業	128	52.3	22.7	24.2	32.0	19.5	18.0	23.4	0.8	1.6	1.9
	宿泊業、飲食サービス業	45	60.0	24.4	37.8	26.7	22.2	17.8	11.1	2.2	6.7	2.0
	福祉	55	65.5	30.9	21.8	14.5	20.0	16.4	9.1	-	3.6	1.8
従業員 規模別	中小企業	257	58.8	29.6	22.2	15.2	19.5	19.8	9.7	0.4	3.1	1.8
	大企業	166	58.4	22.9	28.3	34.9	27.7	24.1	22.9	0.6	1.8	2.2
役職別	経営者・役員クラス	169	59.2	29.6	23.1	19.5	20.7	23.1	13.0	-	3.0	1.9
	一般社員～管理職クラス	254	58.3	25.2	25.6	25.2	24.0	20.5	16.1	0.8	2.4	2.0

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 「特定技能外国人」の採用活動の中で困ったことや不安なことはありますか。または、「特定技能外国人」を受け入れることになったとしたら、「採用活動」において不安なことはありますか。（複数回答）

- ▶ 「特定技能外国人の日本語レベルが心配」が43.0%と最も高く、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が30%台で続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業では「募集から入社までの時間がかかる」が、受け入れ予定企業では「海外まで面接へ行く手間がある」が、検討企業では「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が、それぞれ他企業より高く、受け入れ状況により懸念点が異なることがうかがえる。
- ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が他業種を大きく上回る。



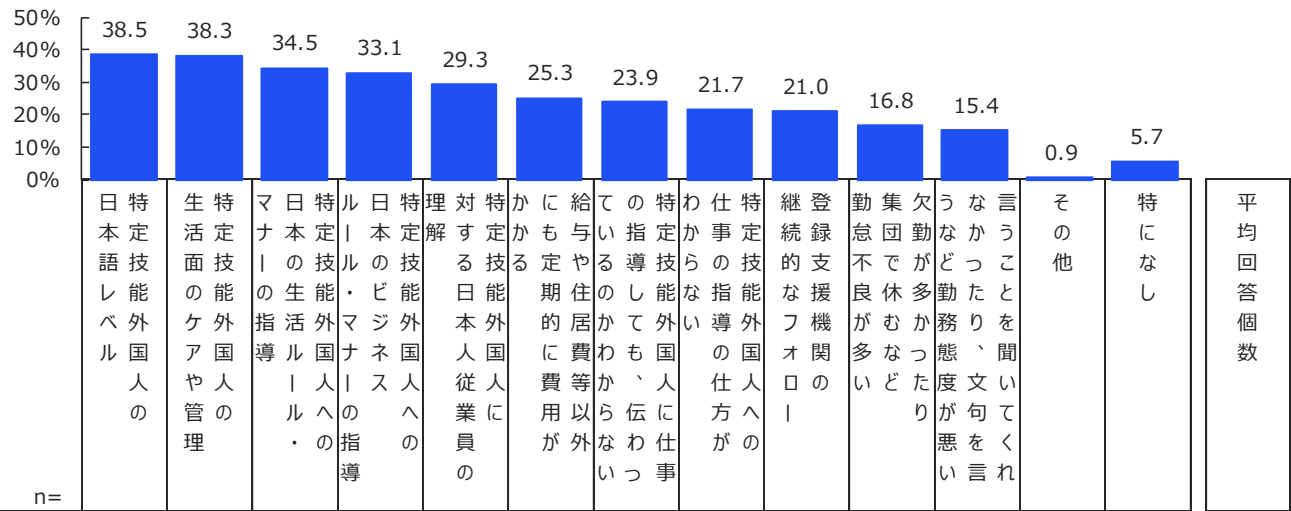
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n	43.0	38.3	31.2	31.0	27.7	25.1	22.0	20.6	18.2	0.5	5.2	平均回答個数
全体		423	43.0	38.3	31.2	31.0	27.7	25.1	22.0	20.6	18.2	0.5	5.2	2.6
受け入れ別	現在受け入れている（働いている）	141	43.3	29.1	29.8	23.4	24.1	30.5	19.1	17.0	14.9	0.7	5.7	2.3
	受け入れを予定している 計	92	33.7	37.0	25.0	28.3	30.4	25.0	20.7	28.3	17.4	1.1	4.3	2.5
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	47.4	45.8	35.3	37.9	28.9	21.1	24.7	19.5	21.1	-	5.3	2.8
業種別	建設業	181	44.2	36.5	35.4	28.7	30.9	21.5	22.7	19.9	21.5	0.6	4.4	2.6
	製造業	128	39.1	39.8	23.4	28.9	23.4	31.3	26.6	18.8	17.2	0.8	3.9	2.5
	宿泊業、飲食サービス業	45	48.9	37.8	42.2	42.2	26.7	22.2	11.1	17.8	15.6	-	6.7	2.6
	福祉	55	40.0	40.0	23.6	30.9	27.3	20.0	18.2	27.3	12.7	-	10.9	2.4
従業員規模別	中小企業	257	40.9	40.9	31.5	30.7	26.5	24.1	23.7	20.6	17.9	-	6.2	2.6
	大企業	166	46.4	34.3	30.7	31.3	29.5	26.5	19.3	20.5	18.7	1.2	3.6	2.6
役職別	経営者・役員クラス	169	38.5	38.5	32.0	32.0	30.2	23.7	23.1	18.3	12.4	-	3.6	2.5
	一般社員～管理職クラス	254	46.1	38.2	30.7	30.3	26.0	26.0	21.3	22.0	22.0	0.8	6.3	2.6

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において、「特定技能外国人」の受け入れ後に、「実際に感じた課題」はありますか。または、「特定技能外国人」の受け入れ後に、「想定している課題」はありますか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人受け入れの課題について、「特定技能外国人の日本語レベル」が38.5%と最も高く、「特定技能外国人の生活面のケアや管理」「特定技能外国人への日本の生活ルール・マナーの指導」「特定技能外国人への日本のビジネスルール・マナーの指導」と続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、上記のような上位項目において、現在受け入れ企業になるにつれてスコアが低くなる傾向がみられる。
- ▶ 国籍別では、フィリピン、インドネシア、ミャンマーで「特定技能外国人への日本のビジネスルール・マナーの指導」「欠勤が多かったり集団で休むなど勤怠不良が多い」をはじめ、受け入れ事例の少なさから多くの点で不安を抱えている様子がうかがえる。



n=30以上で

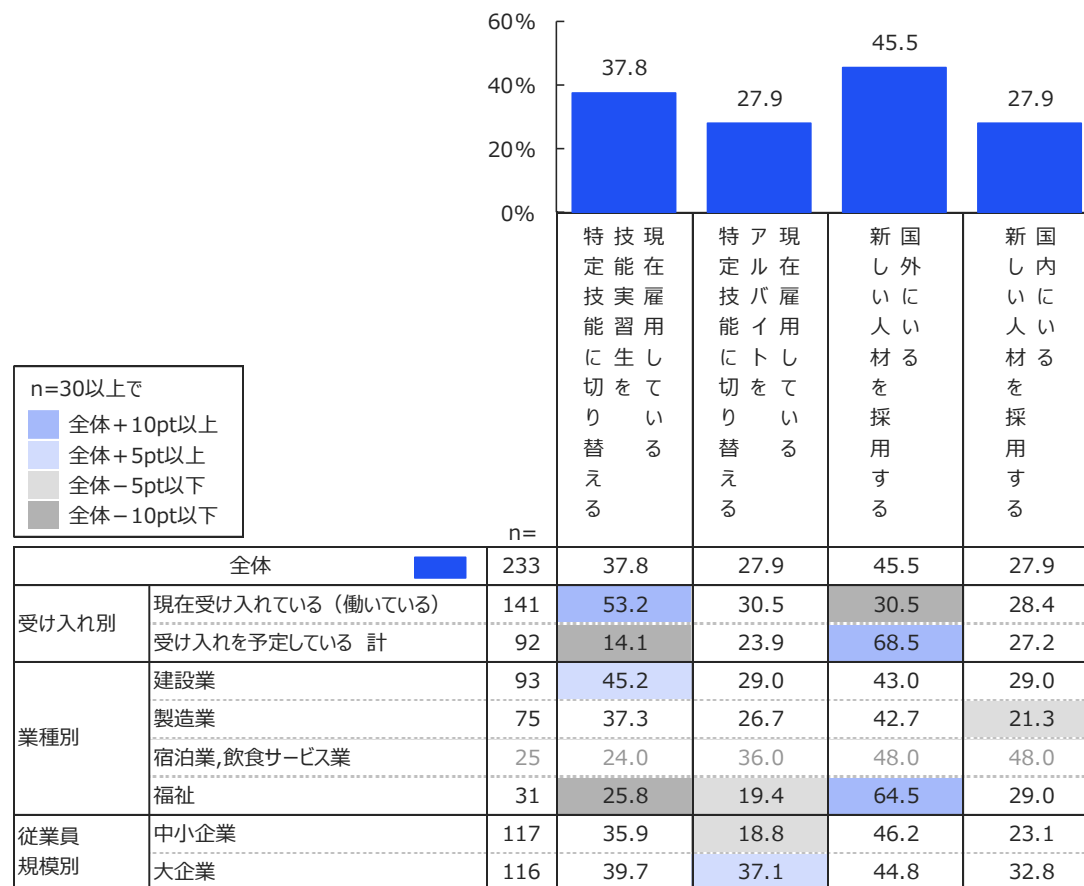
- 全体 +10pt以上
- 全体 +5pt以上
- 全体 -5pt以下
- 全体 -10pt以下

		n=	38.5	38.3	34.5	33.1	29.3	25.3	23.9	21.7	21.0	16.8	15.4	0.9	5.7	平均回答個数
全体		423	38.5	38.3	34.5	33.1	29.3	25.3	23.9	21.7	21.0	16.8	15.4	0.9	5.7	3.0
受け入れ別	現在受け入れている（働いている）	141	32.6	34.0	29.8	28.4	29.8	19.9	20.6	17.0	22.0	12.8	17.0	2.1	6.4	2.7
	受け入れを予定している 計	92	32.6	32.6	33.7	33.7	19.6	26.1	27.2	18.5	23.9	19.6	15.2	1.1	4.3	2.8
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	45.8	44.2	38.4	36.3	33.7	28.9	24.7	26.8	18.9	18.4	14.2	-	5.8	3.3
業種別	建設業	181	40.9	39.8	36.5	32.6	31.5	22.7	29.3	23.8	22.7	21.0	18.8	1.1	6.1	3.2
	製造業	128	34.4	36.7	28.9	29.7	27.3	25.8	23.4	20.3	20.3	11.7	12.5	0.8	3.1	2.7
	宿泊業、飲食サービス業	45	44.4	31.1	44.4	37.8	22.2	26.7	11.1	11.1	22.2	20.0	17.8	-	4.4	2.9
	福祉	55	36.4	38.2	30.9	34.5	30.9	27.3	18.2	23.6	16.4	12.7	7.3	1.8	12.7	2.8
従業員規模別	中小企業	257	38.5	38.9	35.4	30.7	27.6	26.8	24.9	21.8	19.8	18.3	18.3	0.8	5.8	3.0
	大企業	166	38.6	37.3	33.1	36.7	31.9	22.9	22.3	21.7	22.9	14.5	10.8	1.2	5.4	2.9
役職別	経営者・役員クラス	169	38.5	38.5	31.4	26.0	25.4	26.6	20.7	21.3	21.3	12.4	13.0	0.6	4.1	2.8
	一般社員～管理職クラス	254	38.6	38.2	36.6	37.8	31.9	24.4	26.0	22.0	20.9	19.7	16.9	1.2	6.7	3.1
国籍別	ベトナム	114	35.1	40.4	30.7	35.1	28.1	25.4	28.1	24.6	28.9	17.5	12.3	2.6	5.3	3.1
	中国	70	30.0	32.9	31.4	25.7	31.4	22.9	21.4	18.6	25.7	15.7	22.9	-	10.0	2.8
	フィリピン	54	40.7	46.3	38.9	44.4	37.0	25.9	25.9	27.8	31.5	24.1	20.4	1.9	7.4	3.7
	インドネシア	42	33.3	38.1	38.1	40.5	33.3	31.0	21.4	23.8	38.1	26.2	23.8	-	11.9	3.5
	ミャンマー	31	45.2	58.1	35.5	51.6	29.0	32.3	29.0	32.3	22.6	25.8	16.1	-	9.7	3.8

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 現在、貴社で受け入れている「特定技能外国人」は、どのようなルートで採用をしましたか。または、貴社で受け入れを予定している「特定技能外国人」は、どのようなルートで採用を予定していますか。（複数回答）

- 採用ルートは、「国外にいる新しい人材を採用する」が45.5%で最も高く、次いで「現在雇用している技能実習生を特定技能に切り替える」が37.8%。
- 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業では「技能実習生の特定技能への切り替え」が半数超、受け入れ予定企業は「国外の新しい人材を採用」が7割近くと、両者に差がみられる。
- 業種別でみると、建設業では「技能実習生の特定技能への切り替え」が、福祉では「国外の新しい人材を採用」がそれぞれ他業種を上回る。
- 従業員規模別では、「アルバイトの特定技能への切り替え」が大企業で37.1%と、中小企業に2倍以上の差をつけている。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q 貴社では、今後「特定技能外国人」の採用数を増やす予定はありますか。

- ▶ 特定技能外国人の採用数について「増やす予定がある」のは68.1%と7割近く。「増やす予定はない」のは15.6%、「わからない」は16.3%。
- ▶ 従業員規模別では、大企業は「増やす予定がある」（76.9%）が、中小企業は「わからない」（23.8%）がそれぞれ他方を10pt以上上回る。
- ▶ 役職別でみると、経営者・役員クラスの75.0%が「増やす予定がある」と回答。一般社員～管理職クラスに比べて高い。
- ▶ 国籍別では、ベトナム、フィリピンでいずれも7割超が「増やす予定がある」と回答しており、全体値に大きく差をつけている。

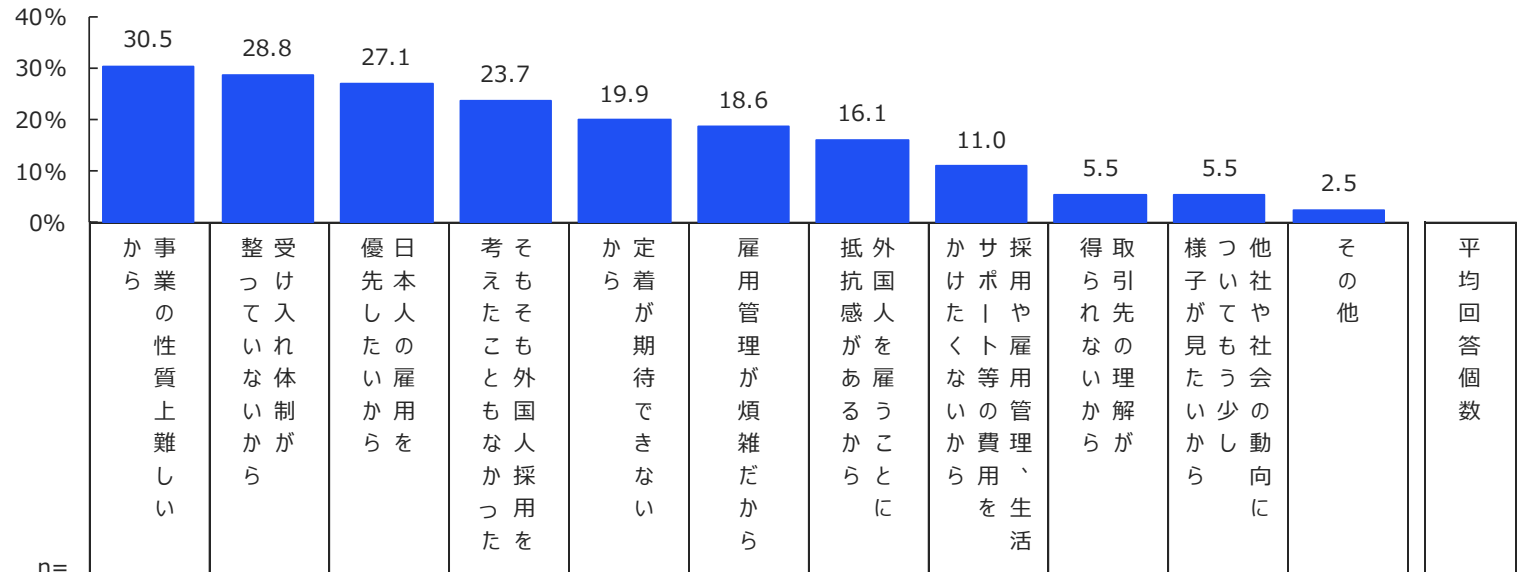
		(%)			
		n=	増やす予定がある	増やす予定はない	わからない
全体		141	68.1	15.6	16.3
業種別	建設業	58	63.8	17.2	19.0
	製造業	50	72.0	16.0	12.0
	宿泊業, 飲食サービス業	15	60.0	13.3	26.7
	福祉	13	69.2	15.4	15.4
従業員規模別	中小企業	63	57.1	19.0	23.8
	大企業	78	76.9	12.8	10.3
役職別	経営者・役員クラス	40	75.0	15.0	10.0
	一般社員～管理職クラス	101	65.3	15.8	18.8
国籍別	ベトナム	72	73.6	12.5	13.9
	中国	52	69.2	17.3	13.5
	フィリピン	32	78.1	12.5	9.4
	インドネシア	23	73.9	17.4	8.7
	ミャンマー	18	66.7	16.7	16.7

※n=30未満は参考値のため灰色。

特定技能外国人 受け入れを検討しない理由（「特定技能」受け入れの検討・予定なし企業）

Q 貴社において、「特定技能外国人」の受け入れを検討していない理由は何ですか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の受け入れを検討しないのは「事業の性質上難しいから」が30.5%と最も高く、次いで「受け入れ体制が整っていないから」「日本人の雇用を優先したいから」「そもそも外国人採用を考えたこともなかった」が20%台で続く。
- ▶ 業種別でみると、「事業の性質上難しいから」において、建設業は35.4%であるのに対し、製造業は22.6%にとどまる。



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	事業の性質上難しいから	受け入れ体制が整っていないから	日本人の雇用を優先したいから	そもそも外国人採用を考えたこともなかった	特定技能外国人の受け入れが期待できない	雇用管理が煩雑だから	外国人の雇用を認めることに抵抗があるから	採用コストや管理費、生活を確保し先払いの管理が難しいから	取り分け先払いの管理が難しいから	子供がいても社会の動きに	その他	平均回答個数
全体		236	30.5	28.8	27.1	23.7	19.9	18.6	16.1	11.0	5.5	5.5	2.5	1.9
業種別	建設業	130	35.4	26.2	30.8	27.7	18.5	18.5	18.5	10.8	5.4	5.4	1.5	2.0
	製造業	53	22.6	30.2	22.6	17.0	24.5	17.0	9.4	9.4	-	7.5	7.5	1.7
	宿泊業、飲食サービス業	17	11.8	35.3	29.4	29.4	29.4	17.6	-	17.6	5.9	-	-	1.8
	福祉	32	28.1	37.5	18.8	18.8	15.6	25.0	28.1	12.5	15.6	6.3	-	2.1
従業員規模別	中小企業	188	30.9	28.7	27.7	25.5	19.7	17.6	18.1	12.2	4.3	4.3	1.6	1.9
	大企業	48	29.2	29.2	25.0	16.7	20.8	22.9	8.3	6.3	10.4	10.4	6.3	1.9
役職別	経営者・役員クラス	210	32.4	30.5	27.1	24.3	19.5	18.6	16.7	11.4	5.2	4.8	2.4	1.9
	一般社員～管理職クラス	26	15.4	15.4	26.9	19.2	23.1	19.2	11.5	7.7	7.7	11.5	3.8	1.6

※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え